



※グラウンド全面改装に伴い(2011年末修了)大楠の下には防護ネットも設置されました。

センター試験へ いざ！ 自分だけの花を咲かせよう!!

第29号  
2012年12月21日加治木高等学校  
PTA発行〒899-5214  
鹿児島県姶良市加治木町  
屋敷21番地  
電話:(0995)63-2052  
FAX:(0995)63-3965

樹齢四百年を超えるといふ加治木高等学校のシンボル大楠。島津義弘公が重富の平松城からここ加治木に移り住んだのが1607年。それ以来、風雪や戦禍に耐え、どうしりと聳え立ちました。第65回龍門祭・体育祭は午後から雨天となりましたが、全競技無事終えることができました。

撮影は、10月15日シングボリハルームの時間に制服姿を行われました。

# かじき木だより

## 研修視察に参加して

教頭 城之下 純一

今回の視察の前半は黒髪キャンパスで、大学の概況等について説明を受けた後、かつて夏目漱石に励み続いた伝統と歴史の重さを感じました。後半は薬学部のある大江キャンパスへ移動。薬学科と創薬生命薬学科の相違等についての説明を受けた後、熊薬ミュージアムや薬用植物園を見学しました。求められる学生像としては、生命科学の基礎となる理科が得意であることはもちろんのことと、世界と対話していくための語学力を磨くことが求められるとのお話を印象に残りました。

熊本大学に学ぶ学生は、専門とするそれぞれの領域の研究はもちろんのこと、四年間の大学生活を通じて人と人とのつながりを深めることができることを心から誇りとしている様子。来年度の入試において、熊本大学を希望する生徒が、一人でも多く進学し、この恵まれた環境の中で学ぶことができるよう、最善を尽くさねばと思った次第です。

## 熊本大学 Kumamoto university

熊本大学の前身は、江戸時代、細川藩の医学校であった「再春館」。長い歴史の中で培われた「学び」の精神は今も、教師陣や学生たちの心にしっかりと受け継がれている。現在、7つの学部・大学院を有する総合大学として、地域と国際社会に貢献すべく、教育研究活動を展開している。

黒髪北キャンパス(文学部・法学部・教育学部)、黒髪南キャンパス(理学部・工学部)、本荘・九品寺キャンパス(医学部)、大江キャンパス(薬学部)

正門(赤門)前  
城之下教頭と川崎先生

## 研修視察



薬学部での説明

## 平成24年度PTA研修視察

◆日程	2012年10月25日(木) 7時45分集合 加治木高校出発 8:00 → 熊本大学 黒髪キャンパス 10:15~11:45 → 昼食(熊本全日空ホテルニースカイ) 12:20~13:25 → 熊本大学薬学部 13:45~15:00 → 加治木高校着 17:25
◆参加者	先生4名 城之下純一教頭、橋野勝利(教務主任・数学)、川崎辰也(進路主任・数学)、大迫伸至(PTA係・地政公民)
保護者	38名 3年8名・2年14名・1年16名 (参加回数:初めて25名、2回目7名、3回以上4名、無回答2名)

加治木高等学校 図書館

## 第25回 J·O·B Joy of Books

～室内楽にのせて贈る本の楽しみ～



J·O·B(Joy of Books)とは  
先生・生徒・保護者によるブックトーク  
あり、音楽♪あり、Tea Timeありの  
有意義な図書館行事です。

2012年10月27日(土) 13:30~16:00



保護者や地域の方々も、多数ご来場くださいました

JOBクッキーの  
差し入れも!

tea timeには  
母の会による  
ドリップ仕立ての  
珈琲サービス!

## 芸術鑑賞

平成24年11月12日(月) 加音ホールにて



「信頼」から感じたもの  
生徒会長 2年4組 細山田捺見  
私は、目に見えない「信頼」が  
「ママ」のこの劇から、何かを感じ  
ることができるのでどうかと楽し  
みにしていました。  
実際に劇を見て、自分への信頼、  
他人への信頼について深く考えさ  
せられた。特にマリーとピエール  
の信頼関係は、お互いを知り、衝  
突し、恋愛し合う中で自然と絆が深  
まって築かれたものだと感じた。  
簡単なことではないが、できない  
ことではない。私にも、本気で向  
き合ってきたからこそ心から信頼  
できる友達がいる。これからも友  
情を深め、一生の友達になれるよ  
うに大切にしていきたい。  
「信頼」の大切さを改めて感じ  
た、心温まる素敵なお芸術鑑賞会と  
なった。

「信頼」から感じたもの  
生徒会長 2年4組 細山田捺見  
私は、目に見えない「信頼」が  
「ママ」のこの劇から、何かを感じ  
ことができるのでどうかと楽し  
みにしていました。  
実際に劇を見て、自分への信頼、  
他人への信頼について深く考えさ  
せられた。特にマリーとピエール  
の信頼関係は、お互いを知り、衝  
突し、恋愛し合う中で自然と絆が深  
まって築かれたものだと感じた。  
簡単なことではないが、できない  
ことではない。私にも、本気で向  
き合ってきたからこそ心から信頼  
できる友達がいる。これからも友  
情を深め、一生の友達になれるよ  
うに大切にしていきたい。  
「信頼」の大切さを改めて感じ  
た、心温まる素敵なお芸術鑑賞会と  
なった。

「信頼」から感じたもの  
生徒会長 2年4組 細山田捺見  
私は、目に見えない「信頼」が  
「ママ」のこの劇から、何かを感じ  
ことができるのでどうかと楽し  
みにしていました。  
実際に劇を見て、自分への信頼、  
他人への信頼について深く考えさ  
せられた。特にマリーとピエール  
の信頼関係は、お互いを知り、衝  
突し、恋愛し合う中で自然と絆が深  
まって築かれたものだと感じた。  
簡単なことではないが、できない  
ことではない。私にも、本気で向  
き合ってきたからこそ心から信頼  
できる友達がいる。これからも友  
情を深め、一生の友達になれるよ  
うに大切にしていきたい。  
「信頼」の大切さを改めて感じ  
た、心温まる素敵なお芸術鑑賞会と  
なった。

「信頼」から感じたもの  
生徒会長 2年4組 細山田捺見  
私は、目に見えない「信頼」が  
「ママ」のこの劇から、何かを感じ  
ことができるのでどうかと楽し  
みにしていました。  
実際に劇を見て、自分への信頼、  
他人への信頼について深く考えさ  
せられた。特にマリーとピエール  
の信頼関係は、お互いを知り、衝  
突し、恋愛し合う中で自然と絆が深  
まって築かれたものだと感じた。  
簡単なことではないが、できない  
ことではない。私にも、本気で向  
き合ってきたからこそ心から信頼  
できる友達がいる。これからも友  
情を深め、一生の友達になれるよ  
うに大切にしていきたい。  
「信頼」の大切さを改めて感じ  
た、心温まる素敵なお芸術鑑賞会と  
なった。



## 理想を現実に

生徒会係 江口 伸一 (2-3担任・生物)

9月7日(金)8日(土)に第65回龍門祭・文化祭が行われました。テーマは『Look for the treasures in life ~輝く命、その一瞬に情熱を~』。日本を襲った東日本大震災から一年以上過ぎました。報道の頻度も少くなり、徐々に風化してしまうのでしょうか。突然消えた多すぎる命。この事実を忘れてはいけない。今、私たちは生き、そして学校生活を送っている。私たちは何をしなければならないのか。文化祭、体育祭から成る壮大な龍門祭を創りあげる過程すべてに情熱を注ぎ、"宝物"を見つけて欲しい。これが生徒会役員の想いでした。

文化祭の運営に欠かせないもの、それは3つあります。生徒会、文化祭実行委員会、3年生MC(進行役)です。生徒会は企画段階で当日をイメージします。3年生に楽しんでもらいたい、みんなを笑顔にしたい…。そして、それを現実化するのが、各クラス2名ずつ選抜された文化祭実行委員と3年生MCです。実行委員はステージにおいて照明を担当。あの瞬間にライトをつける、この瞬間にライトを消す…。各クラスの要望通り、理想を叶えてくれたメンバーです。MCにおいては面接を課することで、生徒会の想いを実現できるメンバーがそろいました。当日は適材適所、最高のチームワークでした。成功の鍵は、運営に関わった全員が、理想実現のため尽力してくれたことです。あらためて、生徒会、文化祭実行委員会、3年生MCにお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございます。そして陰で支えてくれましたPTAの皆様にも感謝申し上げます。文化祭を通じて、みなさんが手にした"treasures"は何ですか?その"宝物"が加治木高校の歴史を創り、来年の龍門祭へと受け継がれていきます。

## 第65回龍門祭・体育祭

体育科 森口 洋 (3-8副担任)

第65回龍門祭・体育祭が9月15日土曜日、昨年度全面改装された本校グラウンドで開催された。

午前中は最高の天候で、各学年とも威風堂々の素晴らしい入場行進に始まり、開会式での生徒会長の元気な「雄たけび」に選手全員おおいに盛り上がった。各学年の健闘を誓い合った「エール交換」後の「100m走」から熱い戦いが始まった。「ジャンボうずまき」では、各学年の職員の密に計算された回り方で制したのは何と1年生。加治木伝統の「くも合戦」では、男子生徒の力強い足技に保護者の皆さんから驚きの声が沸き上がっていた。職員・生徒が必死になって学年の意地を賭けて戦った「綱引き」、集団の統制された「高校生体操」は、どこの高校にも負けない素晴らしい出来であった。

午後の「部活動紹介」の頃から台風の影響で雨が落ち始め、「フォークダンス」では、3年生が雨にも負けず楽しそうに手を取り合いながらダンスを披露してくれた。

ぬかるんだグランドでの「応援演舞」は、各学年、甲乙つけがたい出来栄えではなかったかと思う。夏休みから汗を流しながら苦しい練習をしてきた成果を堂々と演技した応援団員に拍手を送る。

雨で中断した後、手を真っ黒にしながらスポンジで泥水を吸い取る者、一輪車で砂を運ぶ者、両手で砂を撒く者。トンボでその砂を拡げて整地をする者、本校生の見事な「フットワーク」を保護者に観ていただけただけで今年の体育祭は成功したと思うくらいであった。役員のみんな、有難う。

最後になりましたが、体育祭のためにご協力くださいました方々と、加治木高校の生徒に深く感謝いたします。

## あの“一瞬”に煌めきを

応援団長 3年8組 福元 健太

高校生活最後の体育祭、一人一人が持てる力を発揮した素晴らしい体育祭でした。たくさんのことがありました。強く印象に残っているのはやはり演舞です。たった5分のあの瞬間のために、応援団全員で創り上げました。雨の中でしたが、決して色あせない最高のひと時となりました。3年生からの「感動した」「ありがとう」の一言一言は忘れません。

松元先生はじめ多くの先生方と、三年生には本当に感謝しています。そして何よりも『煌麟』のみんな、みんなのおかげで、団長として最後まで自分らしくいることができました。本当に楽しかったです。ありがとうございます。

3年生はここからが勝負です。体育祭のように学年が一つに団結して、受験に向けてみんなで頑張っていきましょう。

## 感謝！感謝！感謝！

3年応援団長保護者 福元 洋介

やっと部活動が終わって勉強に集中して遅れを取り戻し…と思っていたら、応援団でしかも団長をすることになったと聞いた。

当日は台風接近による雨で、足下を気にしながらの演舞であったが、団員を中心に学年が一体となった応援は、見ている人たちに感動を与えてくれた。

一緒に頑張った団員のみんな、学年のまとまりを随所に見せてくれた赤組のみんな、日頃から指導をしてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、誰でも経験できないことをさせてもらい、ひたむきに頑張る姿を見せてくれた息子にも感謝したい。

男子 2位	リーグ 進出
男子 3位	柔道 個人 6kg級
女子 3位	水泳 個体 個人 6kg級
男子 優勝	陸上 男子 区間賞
女子 優勝	女子 団体

男子 優勝	女子 D
女子 優勝	男子 S
男子 2位	女子 S
女子 2位	男子 D
男子 3位	男子 S

女子 優勝	男子 D
男子 3位	女子 S
男子 2位	男子 D
(玉利 ・遠矢 ・坂元 ・篠田 ・立和田)	男子 3位
男子 3位	女子 3位

男子 2位	柔道 個人 M
女子 2位	水泳 個人 M
男子 優勝	男子 400m
女子 優勝	男子 200m
男子 3位	男子 200m

男子 7位	弓道 県新人 1回戦 選抜優勝 大会予選
女子 6位	バスケットボール 県予選
男子 3位	弓道 県予選
女子 2位	弓道 県予選
男子 1位	弓道 県予選

体育部  
門  
部活動大会参加  
及び入賞記録

始良・伊佐地区秋季大会  
県内大会  
県外大会

文化部  
門  
文化部  
門



## 修羅の季節

生徒会文化係 2年3組 山下 樞

今年は僕の番か。そう意気込んでいざ臨んだ文化祭準備。自分の無力を思い知った。タイムテーブルは先生が考えてくれたし、各業者さんとのコミュニケーションはほぼゼロだった。それでもみんな、応援してくれた。彼ら、彼らに応えたくてやるべきことはやってみた。もちろん完璧ではなかったけれど。むしろ穴だらけだったけれど。

本番中は各係への指示において言葉遣いは最悪だったし、進行もやや滯りを見せた。そのたびに痛む胃を押さえながら、先輩たちと同じように、どうにかこうにか、僕も修羅の季節を乗り越えた。

